



Microsoft[®] Lync[™] Server 2010

ライセンス ガイド

目次

概要.....	3
1 Lync Server 2010 の主な変更点.....	4
1.1 新しいブランド.....	4
1.2 新しい Plus CAL.....	4
1.3 Enterprise CAL と ECAL スイートの変更点.....	4
2 Lync Server 2010 の社内ライセンス.....	5
2.1 ライセンスの種類.....	5
2.1.1 サーバー ライセンス.....	5
2.1.2 クライアント アクセス ライセンス (CAL).....	5
2.1.3 デバイス CAL とユーザー CAL.....	6
2.1.4 エクスターナル コネクタ ライセンス.....	6
2.1.5 クライアント ライセンス.....	6
2.2 オンプレミス Lync ライセンスを展開する方法.....	7
2.2.1 サーバー ライセンス.....	7
2.2.2 クライアント アクセス ライセンス.....	7
2.3 外部ユーザーのライセンス.....	8
2.3.1 フェデレーション ユーザー.....	8
2.3.2 認証されていないユーザー.....	8
2.3.3 外部 認証済みユーザー.....	8
2.3.4 パブリック インスタント メッセージング ユーザー.....	9
2.4 Lync Server 2010 の機能の詳細.....	9
2.4.1 Standard Edition.....	9
2.4.2 Enterprise Edition.....	9
2.4.3 Standard Edition と Enterprise Edition の比較.....	9
2.4.4 前提条件.....	10
2.5 Lync Server 2010 クライアント アクセス ライセンス.....	10
2.5.1 Standard CAL.....	10

2.5.2	Enterprise CAL	10
2.5.3	Plus CAL	11
2.5.4	CAL の新機能と機能強化	11
2.5.5	CAL の前提条件	12
2.6	Lync Server 2010 サーバーと CAL の価格	13
2.7	Lync Server 2010 をマイクロソフト製品スイートの一部として購入する	13
3	マイクロソフトでホスティングされた Lync Online のライセンス	14
3.1	Lync Online への加入方法	14
3.1.1	Lync ユーザー サブスクリプション ライセンス	14
3.1.2	Lync Online USL の機能	14
3.2	Lync Online の購入方法	14
3.2.1	スタンドアロン USL	14
3.2.2	スイートの一部としての Lync Online	14
3.2.3	Lync Online の価格	14
3.3	Lync Server 2010 を既に所有している場合に Lync Online を購入する	15
4	Lync パートナー ソリューション	16
4.1.1	独立系ソフトウェア ベンダー	16
4.1.2	サービス プロバイダー使用許諾契約書	16
5	よく寄せられる質問	17
5.1	全般的な価格とライセンス	17
5.2	Lync の特別優遇ポリシー	19
5.3	Lync Online	20
6	付録	21
6.1	Office Communications Server 2007 R2 移行パス	21
6.2	特別優遇ポリシー	21
6.2.1	主な変更点の概要	22
6.2.2	特別優遇の対象	22
6.3	サーバーの役割	22

概要

Microsoft® Lync™ Server 2010 はいくつかの柔軟性の高い展開オプションを備えています。Microsoft® Lync™ Server 2010 はオンプレミス (社内設置サーバー) への展開、マイクロソフトによる直接ホスティング、またはパートナーによるホスティングが可能です。Lync を購入するには、選択した展開オプションに従って、3 つの異なる方法があります。

- **オンプレミス:** 社内設置サーバーに Lync を展開するには、Lync Server 2010 インスタンスごとのライセンス、およびユーザーまたはデバイスごとのクライアント アクセス ライセンス (CAL) が必要です。Lync のスタンドアロンライセンスを取得するか、Enterprise CAL スイートの一部として、他のマイクロソフト製品と組み合わせによりライセンスを購入することができます。
- **マイクロソフトによるホスティング:** マイクロソフトによりホスティングされる Lync 展開の場合、ユーザーごとにユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) が必要です。社内 Lync ライセンスと同様、スタンドアロンの Lync Online サブスクリプションを購入するか、Business Productivity Online Standard スイートの一部として、他のマイクロソフト製品と組み合わせて購入することができます。
- **パートナーによるホスティング:** マイクロソフトには Microsoft Lync Server 2010 製品とソリューションの構築、展開、およびサービス提供を支援する大規模なパートナー エコシステムがあります。Lync インフラストラクチャのホスティングまたは次世代通信環境の構築支援については、パートナーに直接お問い合わせください。

上記オプションのライセンスと情報については、このドキュメントで詳しく説明します。

1 Lync Server 2010 の主な変更点

1.1 新しいブランド

このリリースの主な変更点の 1 つは、Microsoft Office Communications ポートフォリオのブランド名を変更したことです。この新しいリリース (コードネーム: Communications Server “14”) では、Microsoft® Lync™ という新しい名前が発表されました。Lync は、あらゆるコミュニケーションをより共同的で魅力的な、事実上どこからでもアクセス可能なやり取りへ変化させる新しいコミュニケーション環境の実現を目指しています。マイクロソフトのビジョンは、いつでもどこでも人々を結び付けることのできる新しい方法の提供であり、Lync 製品ファミリーはこの目標を体現しています。

1.2 新しい Plus CAL

Lync Server 2010 CAL ソリューションには、エンタープライズ VoIP 機能を含む新しい CAL である Lync Server 2010 Plus CAL が含まれるようになりました。詳細については、「[2.5 Lync Server 2010 クライアント アクセス ライセンス](#)」を参照してください。

1.3 Enterprise CAL と ECAL スイートの変更点

Office Communications Server (OCS) 2007 R2 Enterprise CAL で以前提供されていたエンタープライズ VoIP 固有の機能の一部は新しい Lync Server 2010 Plus CAL でのみ提供されるようになります。また、Lync Server 2010 Plus CAL とその関連機能は Enterprise CAL (ECAL) スイートには含まれません。

エンタープライズ VoIP 機能は Lync 2010 の Enterprise CAL からは使用できませんが、OCS 2007 R2 Enterprise CAL または ECAL スイートを購入し、Lync Server 2010 のリリース日までソフトウェア アシユアランスの特典を保持したお客様には、Plus CAL に対する権利が付与されます。

詳細については、「[6.2 特別優遇ポリシー](#)」を参照してください。

2 Lync Server 2010 の社内ライセンス

2.1 ライセンスの種類

社内 Lync Server 2010 は、サーバー/クライアント アクセス ライセンス (CAL) モデルで使用が許諾されます。ライセンスには、(1) サーバー ライセンス、(2) クライアント アクセス ライセンス、(3) エクスターナル コネクター ライセンスの 3 種類があります。

2.1.1 サーバー ライセンス

実行されるサーバー ソフトウェアのインスタンスごとにライセンスを割り当てる必要があります。Lync Server 2010 では次の 2 つのエディションが提供されます。

- Lync Server 2010 Standard Edition
- Lync Server 2010 Enterprise Edition

2.1.2 クライアント アクセス ライセンス (CAL)

Lync Server 2010 にアクセスするには、クライアント アクセス ライセンス (CAL) が必要です。CAL はソフトウェア製品ではなく、サーバーのサービスにアクセスする権利をユーザーに与えるライセンスです。Lync では次の 3 つの CAL が提供されます。

- Lync Server 2010 Standard CAL
- Lync Server 2010 Enterprise CAL
- Lync Server 2010 Plus CAL

Enterprise CAL と Plus CAL は追加型であり、Standard CAL に追加する形で購入します。つまり、あるユーザーに対して Standard CAL 機能を有効にするには、1 つの Standard CAL のみが必要です。しかし、Enterprise CAL または Plus CAL の機能を使用するには、1 つの Standard CAL に加え、1 つの Enterprise CAL または 1 つの Plus CAL が必要です。すべての機能を有効にするには、ユーザーに 3 つの CAL がすべて必要です。

なお、各 CAL はサーバーの Standard Edition および Enterprise Edition で利用できます。

2.1.3 デバイス CAL とユーザー CAL

Lync CAL ごとに、2 種類の CAL を購入できます。

- デバイス ベースの CAL (デバイス CAL)
- ユーザー ベースの CAL (ユーザー CAL)

ユーザー CAL の場合、Lync Server 2010 の機能にアクセスする認証ユーザーごとに CAL を購入します。この場合、アクセスに使用するデバイスの数は関係ありません。ユーザーが複数のデバイス、不明なデバイス、または組織内のユーザー数より多くのデバイスを使用して企業ネットワークにモバイル アクセスする必要があるような場合、ユーザー CAL を購入した方が有利な場合があります。

デバイス CAL の場合、Lync Server 2010 の機能にアクセスするデバイスごとに CAL を購入します。そのデバイスを使用してサーバーにアクセスする認証ユーザーの数は関係ありません。従業員が交代勤務などでデバイスを共有する場合、デバイス CAL の方が経済的で管理しやすくなる場合があります。

どちらの方式がより経済的かによって、デバイス CAL とユーザー CAL のいずれかをニーズに基づいて選択できます。なお、デバイスとユーザーがどちらも認証されない場合、CAL は必要ありません。

2.1.4 エクスターナル コネクタ ライセンス

ビジネス パートナー、外部ベンダー、その他の臨時スタッフなど、社員以外の外部ユーザーが認証ユーザーとして Lync Server 2010 にアクセスできるようにする場合、次の 2 つのライセンス オプションがあります。

- 外部ユーザーごとに CAL を取得する
- 外部ユーザーがアクセスするサーバーごとにエクスターナル コネクタ (EC) ライセンスを取得する

EC ライセンスは、外部ユーザーがアクセスする各サーバーで CAL に代わって使用されます。Lync Server 2010 に EC ライセンスが割り当てられると、任意の数の外部ユーザーがアクセスできるようになります。外部ユーザーがアクセスする各物理サーバーには 1 つの EC ライセンスしか必要ありません。実行されるインスタンスの数は関係ありません。Lync Server 2010 用の External Connector には次の 3 種類があります。

- Lync Server 2010 エクスターナル コネクタ Standard
- Lync Server 2010 エクスターナル コネクタ Enterprise
- Lync Server 2010 エクスターナル コネクタ Plus

どちらの方が経済的かによって、CAL と EC のいずれかをニーズに基づいて選択できます。

2.1.5 クライアント ライセンス

認証された環境で Lync Server 2010 の機能にアクセスするには、Lync クライアント アプリケーションが必要です。Lync には次のクライアントがあります。

- Microsoft Lync 2010

Lync 2010 はスタンドアロン アプリケーションとして、または Office Professional Plus 2010 スイートの一部として購入できます。

2.2 オンプレミス Lync ライセンスを展開する方法

2.2.1 サーバー ライセンス

サーバー ライセンスは、Lync Server 2010 のフロントエンド サーバーの役割 (Lync のすべての展開に必要な) の物理インスタンスまたは仮想インスタンスごとに必要です。Standard Edition と Enterprise Edition は Microsoft Windows Server® を実行しているサーバーにインストールし、さまざまなサーバーの役割に構成できます。サーバーの役割は、音声ビデオ会議、エッジ サービス、エンタープライズ VoIP と PSTN の仲介など、一連の特殊な機能を実行する Lync Server 2010 インスタンスです。一部の役割は追加ソフトウェアと見なされ、ライセンスを必要としません。そうした役割の場合、フロントエンド サーバーの役割で任意の数のインスタンスを直接実行できます。「6.3 サーバーの役割」では、Lync Server 2010 に用意されているサーバーの役割の一覧を示します。

2.2.2 クライアント アクセス ライセンス

CAL は Lync Server 2010 の役割のインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスごとに必要です。各サーバー インスタンスはユーザーにさまざまな機能を提供するため、Lync アーキテクチャ/トポロジにあるすべてのサーバーに CAL が必要なわけではありません。

たとえば、Lync Server 2010 フロントエンドの役割 (すべての Lync 展開に必要な) を展開し、Web 会議サーバーの役割でも Lync Server 2010 を展開した場合、リッチ IM とプレゼンス機能用に Lync Server 2010 Standard CAL が、オンライン会議用に Lync Server 2010 Enterprise CAL が必要です。この例では Plus CAL は必要ありません。図 1 に、さまざまなサーバーの役割に対する CAL 要件を示します。

図 1: サーバーの役割に対する CAL 要件

サーバーの役割	必要な CAL
音声 / ビデオ会議サーバー	Standard、Enterprise または Plus
アプリケーション共有サーバー	Standard、Enterprise
アーカイブ サーバー	Standard
バックエンド データベース	該当なし
会議サーバー	Standard、Enterprise または Plus
ディレクター	Standard、Enterprise または Plus
エッジ サーバー	Standard、Enterprise または Plus
フロントエンド サーバー	Standard、Enterprise または Plus
仲介サーバー	Standard、Enterprise または Plus
監視サーバー	Standard、Enterprise または Plus
チャットルーム サーバー	Standard
テレフォニー会議サーバー	Standard、Enterprise
Web 会議サーバー	Standard、Enterprise

サーバーの機能の詳細と CAL ライセンスについては、「**Lync Server 2010 の機能の詳細**」で説明しています。

2.3 外部ユーザーのライセンス

外部ユーザーが Lync Server 2010 にアクセスするには、ライセンスが必要になることがあります。次の 4 種類の外部ユーザーが Lync Server 2010 にアクセスできます。

- フェデレーション ユーザー
- 匿名ユーザー
- 外部ユーザー
- パブリック IM 接続ユーザー

2.3.1 フェデレーション ユーザー

フェデレーション ユーザーは、フェデレーション パートナーとの有効な資格情報を所有し、それに基づいて Lync Server 2010 で認証されている外部ユーザーです。フェデレーションは Lync Server 2010 のライセンスに提供されている機能です。別のパートナーとのフェデレーションにより接続されたユーザーには CAL またはエクスターナル コネクター ライセンスは必要ありません。

2.3.2 認証されていないユーザー

認証されていないユーザー (匿名ユーザー) は Active Directory® ドメイン サービスに識別情報が含まれていないユーザーまたはデバイスです。フェデレーション ユーザーとは異なり、匿名ユーザーは認証されていません。Lync Server 2010 の認証されていないユーザーにライセンスは必要ありません。

2.3.3 外部¹ 認証済みユーザー

EC ライセンスにより、CAL の数が不明な場合でも、無制限の数の認証済み² 外部ユーザーが Lync Server 2010 にアクセスできるようになります。必要な EC ライセンス数は物理的な Lync Server 2010 サーバーの数に対応します。インスタンスの数は関係ありません。必要な特定の EC は外部ユーザーに必要な同等の CAL 機能によって決まります。次に、利用できる EC ライセンスおよび同等の CAL 機能を示します。

- External Connector Standard - Standard CAL 機能と同等
- External Connector Enterprise - Enterprise CAL 機能と同等
- External Connector Plus - Plus CAL 機能と同等

¹ 外部: 通常、社員ではなくお客様の契約に定義されていないユーザー。

² 認証済み: Active Directory ドメイン サービスに識別情報が含まれるユーザー。

2.3.4 パブリック インスタント メッセージング ユーザー

Lync Server 2010 は Lync Server 2010 を使用している既存のユーザー ベースを、主要なパブリック IM サービス プロバイダーに接続するための機能を組織に提供します。パブリック IM 接続のライセンス要件は接続先のサービス プロバイダーおよび使用する Lync Server 2010 CAL によって異なります。

- Windows Live™ と AOL:** ソフトウェア アシユアランス (SA) がアクティブな Lync Server 2010 がある場合、追加ライセンスなしに Windows Live Messenger と AOL とのフェデレーションを行うことができます。要件を満たしていない場合、Windows Live Messenger と AOL とのフェデレーションのため、Lync パブリック IM 接続 (PIC) ライセンスを購入する必要があります。
- Yahoo!:** Yahoo! とのフェデレーションには、Lync Server 2010 PIC のユーザーごとのサブスクリプション ライセンスが必要です。Lync Server 2010 PIC ライセンスは Microsoft サービスとしてユーザー単位、月単位で個別に購入します。PIC サービス ライセンスは、Microsoft ボリューム ライセンスを利用している場合のみ購入できます。
- XMPP ネットワーク:** Google Talk などの XMPP (Extensible Messaging and Presence Protocol) ネットワークとのフェデレーションは Lync Server 2010 XMPP Gateway を使用して有効にできます。このゲートウェイは XMPP ネットワークとのプレゼンス共有とインスタント メッセージング (IM) を提供します。ライセンス費用の追加なしに利用できます。

2.4 Lync Server 2010 の機能の詳細

2.4.1 Standard Edition

Standard Edition サーバーは、パイロット展開やラボ展開、または高い可用性やパフォーマンスを必要としない企業や部門に最適です。全体または特定の場所のユーザーが 5,000 人未満の展開を対象としています。

2.4.2 Enterprise Edition

Enterprise Edition サーバーは Standard Edition サーバーの機能をすべて備え、さらにスケーラビリティと高可用性も備えています。あらゆる場所や構成で無制限の数のユーザーが使用できるように想定されています。

2.4.3 Standard Edition と Enterprise Edition の比較

図 2 に、Standard Edition と Enterprise Edition のサーバー機能の違いをまとめています。

図 2: Lync Server 2010 Standard Edition と Enterprise Edition の機能

サポートされる機能	Standard Edition	Enterprise Edition
サービスの高可用性		✓
最大スケーラビリティ	5,000	100,000

2.4.4 前提条件

Lync Server 2010 では Windows Server® と Microsoft SQL Server® が実行されていることが必要です。Lync Server 2010 にはこれらの製品のライセンスが含まれていないことがあります。Windows Server と SQL Server の正しいライセンスがあることを確認してください。

- 通常、Windows Server はサーバー/CAL モデルで使用が許諾されます。Windows Server のライセンスの詳細については、[Windows Server 2008 R2 のライセンス ページ](#) を参照してください。
- SQL Server には、サーバー/CAL とプロセッサ単位という 2 つの主要ライセンス モデルがあります。SQL Server のライセンスの詳細については、[SQL Server 2008 R2 のライセンス ページ](#) を参照してください。
- SQL Server Express は Lync Server 2010 Standard Edition ライセンスで提供されています。

図 3: サポートされている Windows Server と SQL Server のバージョン

前提条件	Standard Edition	Enterprise Edition
サポートされる SQL Server のバージョン		
Microsoft SQL Server 2008 Express (64 ビット) *Standard Edition に無償で含まれています	✓	
Microsoft SQL Server 2008 Enterprise Edition w/SP1 (64 ビット)		✓
Microsoft SQL Server 2008 Standard Edition w/SP1 (64 ビット)		✓
Microsoft SQL Server 2005 Enterprise Edition w/SP3 (64 ビット)		✓
Microsoft SQL Server 2005 Standard Edition w/SP3 (64 ビット)		✓
サポートされる Windows Server のバージョン		
Windows Server 2008 Datacenter Edition w/SP2	✓	✓
Windows Server 2008 Standard Edition	✓	✓
Windows Server 2008 Enterprise Edition	✓	✓
Windows Server 2008 R2	✓	✓

2.5 Lync Server 2010 クライアント アクセス ライセンス

2.5.1 Standard CAL

Lync Server 2010 Standard CAL はインスタント メッセージングとリッチ プレゼンス (IM/P) 機能を提供します。リアルタイム プレゼンスと拡張 IM および PC 間の音声ビデオ通信をユーザーに提供します。またユーザーは、内部でホストされる会議に認証された出席者として参加することができます。

2.5.2 Enterprise CAL

Lync Server 2010 Enterprise CAL は音声会議、ビデオ会議、および Web 会議機能を提供します。ユーザーは会議の作成やファシリテーションを行い、会議に出席して、内部ユーザーと外部ユーザーとの共同作業を進めることができます。

2.5.3 Plus CAL

Lync Server 2010 Plus CAL はエンタープライズ VoIP テレフォニー機能を提供します。IP 電話、PC、およびデスクトップアプリケーション間でのインターネット接続により、高品質の音声機能およびその他の関連機能をユーザーに提供します。

2.5.4 CAL の新機能と機能強化

次の表 (図 4 ~ 6) に、各 Lync Server 2010 CAL の機能の詳細を示します。

図 4: インスタント メッセージングおよびプレゼンス

機能	新機能 または拡張	Standard CAL		Enterprise CAL		Plus CAL	
		OCS 2007 R2	LS 2010	OCS 2007 R2	LS 2010	OCS 2007 R2	LS 2010
PC 間、およびマルチパーティ (3 名以上) での IM	機能拡張	✓	✓				
PC 間、およびマルチパーティ (3 名以上) でのファイル転送	機能拡張	✓	✓				
PC 間でのコンピューター 音声通信	機能拡張	✓	✓				
PC 間でのコンピューター ビデオ通信	機能拡張	✓	✓				
リッチ プレゼンス	機能拡張	✓	✓				
永続的なグループチャット (英語のみ)	機能拡張	✓	✓				
スキルの検索	新機能		✓				
Office アプリケーションからの IM およびプレゼンス	機能拡張	✓	✓				
フェデレーションされる組織やパブリック IM ネットワークのユーザーとの PC 間 IM、音声およびビデオ通信	機能拡張		✓				
会議の参加者: (以下すべて認証ユーザーとして) スケジュールまたはアドホック会議への参加、音声やビデオの送受信、共有アプリケーションの閲覧、ホワイトボードの閲覧と書き込み	新機能		✓	✓			
会議の発表者: (以下すべて認証ユーザーとして) PowerPoint スライドのアップロードとページ切り替え、レコーディングの開始、アプリケーションの共有、名簿の管理、ミーティング ロビーの管理、DTMF コントロールの使用	新機能		✓	✓			
アプリケーション共有セッションの閲覧 (参加者)	新機能		✓				

図 5: 音声会議、ビデオ会議、Web 会議

機能	新機能 または拡張	Standard CAL		Enterprise CAL		Plus CAL	
		OCS 2007 R2	LS 2010	OCS 2007 R2	LS 2010	OCS 2007 R2	LS 2010
PSTN または PBX ユーザーへのダイヤル アウトを含む、マルチパーティ (3 名以上) でのアドホック会議の開催またはスケジュール	機能拡張			✓	✓		✓
アドホックなマルチパーティ ビデオ会議の開催	機能拡張			✓	✓		
アドホックなアプリケーション共有の開始 (P2P またはマルチパーティ)	機能拡張			✓	✓		

アドホックなホワイトボードの開始 (P2P またはマルチパーティ)	新機能			✓		
音声会議ブリッジ (CAA) での会議のスケジュールおよびホスト	機能拡張	✓		✓		
Web 会議のスケジュール	機能拡張	✓		✓		
PBX またはそれ以外の電話番号からの会議への自動参加	新機能			✓		
PSTN へのダイヤルアウト	機能拡張	✓				✓
PSTN からの電話の着信	機能拡張	✓				✓

図 6: エンタープライズ VoIP テクノジ

機能	新機能 または拡張	Standard CAL		Enterprise CAL		Plus CAL	
		OCS 2007 R2	LS 2010	OCS 2007 R2	LS 2010	OCS 2007 R2	LS 2010
PSTN または PBX ユーザーへのダイヤル アウトを含む、マルチパーティ (3 名以上) でのアドホック会議の開催またはスケジュール	機能拡張			✓	✓		✓
UC および PBX 通話管理 (クリックトゥコール、応答、保留、再開、転送、パーク保留と解除)	新規 / 機能拡張			✓			✓
ボイスメールへのビジュアルなアクセス (ボイスメールには Exchange UM が必要)	新規 / 機能拡張			✓			✓
追加の電話機能 (パーク保留、不正な呼び出しのレポート、着信専用回線)	新機能					N/A	✓
ルーティング ルール (チーム通話、転送、同時着信など)	機能拡張			✓			✓
E911 機能 (北米のみ)	新機能						✓
委任	機能拡張			✓			✓
応答グループ エージェントおよびエージェント匿名性	機能拡張			✓			✓

2.5.5 CAL の前提条件

各 Lync Server 2010 CAL では、主にユーザーが利用する機能に応じて、基になるマイクロソフト テクノロジが他にも必要とされることがあります。次のマイクロソフト製品が Lync と共に必要となることがあります。

- すべてのシナリオで、ユーザーまたはデバイスごとに Windows Server CAL が必要です。通常、Windows Server はサーバー/CAL モデルで使用が許諾されます。Windows Server のライセンスの詳細については、[Windows Server 2008 R2 のライセンス ページ](#) を参照してください。
- ユニファイド メッセージング シナリオのユーザーには Exchange Standard CAL と Enterprise CAL が必要です。Exchange Server 2010 のライセンスの詳細については、[Exchange Server 2010 のライセンス ページ](#) を参照してください。
- スキル検索機能を利用するユーザーには SharePoint が必要です。SharePoint Server 2010 のライセンスの詳細については、[SharePoint Server 2010 のライセンス ページ](#) を参照してください。

- Office 統合シナリオのユーザーには Office 2010 が必要です。Office 2010 のライセンスの詳細については、[Office 2010 のライセンス ページ](#) を参照してください。

2.6 Lync Server 2010 サーバーと CAL の価格

価格はすべて、米国内の標準小売価格での購入を前提としており、米ドルで示されています。一覧の価格は見積価格であり、再販業者での価格はプログラムと数量により異なることがあります。

図 7: クライアントとサーバーの価格

ソフトウェア	価格
Lync 2010 (クライアント)	\$31
Lync Server 2010 Standard Edition	\$699
Lync Server 2010 Enterprise Edition	\$3,443

図 8: CAL の価格

ライセンス	価格
Standard クライアント アクセス ライセンス (1 デバイスまたは 1 ユーザーあたり)	\$31
Enterprise クライアント アクセス ライセンス (1 デバイスまたは 1 ユーザーあたり)	\$107
Plus クライアント アクセス ライセンス (1 デバイスまたは 1 ユーザーあたり)	\$107

図 9: エクスターナル コネクターの価格

ライセンス	価格
Lync Server 2010 エクスターナル コネクター Standard	\$2,021
Lync Server 2010 エクスターナル コネクター Enterprise	\$2,021
Lync Server 2010 エクスターナル コネクター Plus	\$2,021

2.7 Lync Server 2010 をマイクロソフト製品スイートの一部として購入する

Lync CAL はスタンドアロン Lync Server 2010 の使用権を提供します。しかし、Standard CAL と Enterprise CAL はどちらも他のマイクロソフト製品と共に [Microsoft Enterprise CAL \(ECAL\) スイート](#) の一部として購入できます。Plus CAL はスタンドアロン ライセンスとしてのみ購入でき、ECAL スイート ソリューションには含まれません。スイートの一部として Lync を購入する場合の詳細については、[Microsoft CAL スイート](#) を参照してください。

3 マイクロソフトでホスティングされた Lync Online のライセンス

Lync Server 2010 はオンプレミス展開用にライセンスを取得できますが、マイクロソフトによるホスティング サービスを使用して、一部またはすべてのユーザーが Lync 機能にアクセスできるようにすることもできます。この方法では、必要に応じて拡大縮小できる従量課金モデルでエンタープライズ クラスのコミュニケーションのメリットを享受でき、経済的リスクを最小限に抑えることができます。

Lync Online によって、貴重な投資、IT スタッフ、その他の高価なリソースの負担を軽減し、それらを組織内でより効果的、戦略的に使用できるようになります。

3.1 Lync Online への加入方法

3.1.1 Lync ユーザー サブスクリプション ライセンス

Lync Online はサブスクリプション モデルによりライセンスが供与されます。サブスクリプション モデルでは、サーバーごとおよび Lync Server 2010 を使用するユーザー/デバイスごとにサーバー ライセンスを購入するのではなく、各ユーザーがユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) を必要とします。

現在、Lync Online には次の USL が用意されています。

- Lync Online Standard USL
- Lync Online Enterprise USL

3.1.2 Lync Online USL の機能

Lync Online で提供される機能は社内 Lync で提供される機能に似ています。次に、各 Lync Online USL の機能の概要を示します。

- Lync Online Standard USL - プレゼンス、IM、および PC 間の音声ビデオ電話を提供します。
- Lync Online Enterprise USL - 電話会議、ビデオ会議、および Web 会議を提供します。

3.2 Lync Online の購入方法

3.2.1 スタンドアロン USL

スタンドアロン Lync Online USL を購入する方法の詳細については、[Microsoft Online Services](#) のサイトを参照してください。

3.2.2 スイートの一部としての Lync Online

オンプレミス CAL と同様に、オンライン USL も製品スイートの一部として購入できます。現在、Lync Online を含むスイートは、[Business Productivity Online Standard Suite](#) です。

3.2.3 Lync Online の価格

価格は現在未定です。

3.3 Lync Server 2010 を既に所有している場合に Lync Online を購入する

ボリューム ライセンスを利用しており、有効なソフトウェア アシュアランスをお持ちの場合、既に所有するライセンスに基づき、割引価格で Lync Online サブスクリプションを購入できる場合があります。詳細については、ご利用の再販業者にお問い合わせください。

4 Lync パートナー ソリューション

マイクロソフトには Lync Server 2010 製品とソリューションの構築、展開、およびサービス提供を支援する大規模なパートナー エコシステムがあります。この方法のライセンス モデルは、各デバイスまたはユーザーが Lync の有効なライセンスまたはサブスクリプションを必要とするオンプレミス Lync または Lync Online に似ています。ほとんどのパートナーでは、さまざまなレベルの機能を備えた数種類のソリューションを用意しています。

ソリューションと価格の詳細については、ローカル パートナーにお問い合わせください。

4.1.1 独立系ソフトウェア ベンダー

ローカル パートナーを柔軟に利用し、Lync Server 2010 と共にカスタマイズされたコミュニケーション対応ビジネス プロセス (CEBP) アプリケーションを取得することもできます。Microsoft Independent Software Vendor (ISV) Royalty ライセンス プログラムは、パートナーがエンドユーザーに、マイクロソフト ソフトウェアとの統合ソリューションを提供するためのものです。パートナーはライセンスされたマイクロソフト ソフトウェアを他のアプリケーションと統合し、エンドユーザーに統合ソリューションとして配布することができます。ISV Royalty ライセンス プログラムはリセラー プログラムではなく、マイクロソフト製品を統合ソリューションの一部としてライセンスを供与する権利を ISV パートナーに提供するプログラムです。

4.1.2 サービス プロバイダー使用許諾契約書

マイクロソフト サービス プロバイダー使用許諾契約書 (SPLA) プログラムにより、パートナーは顧客用にマイクロソフト製品のライセンスを供与し、マイクロソフト製品をホスティングできます。

5 よく寄せられる質問

5.1 全般的な価格とライセンス

質問: Lync Server 2010 を購入すると、Lync 2010 クライアントの使用権も取得できるのでしょうか。

回答: いいえ、Lync 2010 は Lync Server または CAL には含まれておらず、スタンドアロン ライセンスとして、または Office Professional Plus のコンポーネントとして購入できます。Lync Server 2010 CAL は Lync 2010 クライアントを通じて IM とプレゼンス、音声/ビデオ/Web 会議、およびエンタープライズ VoIP 機能にアクセスする権利を提供します。

質問: Lync Server 2010 の発売日時点で、ソフトウェア アシユアランスが有効な Office Professional Plus 2010 を所有しています。Lync 2010 クライアントの使用権は取得できるのでしょうか。

回答: はい、Office Professional Plus ソフトウェア アシユアランスの特典には、Lync 2010 クライアントの最新バージョンに対する権利が含まれます。

質問: Lync アーキテクチャにおいて安定性と拡張性の高いインフラストラクチャが必要な場合、Lync Server 2010 にはどのような高可用性オプションがありますか。

回答: Lync Server 2010 Enterprise Server は高可用性サーバーのライセンスと展開に関して高い柔軟性を備えています。

質問: OCS 2007 R2 Enterprise CAL で提供されている音声/ビデオ/Web 会議とエンタープライズ VoIP を現在使用しており、ソフトウェア アシユアランスを保持している場合、Lync Server 2010 Enterprise CAL の同じ機能に対して同じ権利を所有していることになりますか。

回答: Lync Server 2010 の場合、エンタープライズ VoIP 用の CAL として Lync Server 2010 Plus CAL という名前の新しい CAL が作成されました。Office Communications Server 2007 R2 Enterprise CAL または ECAL スイートでソフトウェア アシユアランスが有効な場合、Lync Server 2010 Plus CAL に対する権利を持ちます。詳細については、マイクロソフト [製品表](#) のメモを参照してください。

質問: Lync Server 2010 Enterprise CAL には Lync Server 2010 Enterprise サーバーが必要ですか、またはその逆が当てはまりますか。

回答: いいえ、CAL はいずれのサーバー エディションでも使用できます。たとえば、Standard CAL は Lync Server 2010 Enterprise Edition サーバーでの使用に対してライセンスできます。CAL によって特定の機能にアクセスできます。一方、サーバー エディションではサーバー インストールにさまざまなスケーラビリティ オプションを利用できます。

質問: Lync Server 2010 を直接物理サーバーで実行するのではなく仮想マシンで実行する場合、ライセンスはどうなりますか。

回答: Lync Server 2010 フロントエンド サーバーの役割の実行インスタンスごとに 1 つのサーバー ライセンスが必要です。物理サーバーでネイティブにインストールするか仮想マシンにインストールするかは関係ありません。他のすべてのサーバーの役割は、アーキテクチャの必要に応じて任意の数のインスタンス (物理インスタンスまたは仮想インスタンス) でライセンスできます。Lync Server 2010 の仮想化サポートの詳細については、[ここ](#)を参照してください。

質問: 退職者、パートナーなど、社員以外のユーザーによる認証済みアクセスを許可する企業で External Connector が使用できますか。

回答: はい、External Connector ライセンス モデルは Lync Server 2010 で変更されていません。External Connector ソリューションに Lync Server 2010 External Connector Plus Edition が追加されました。

質問: 社員や請負業者ではない臨時ユーザーに対してどのようにライセンスを供与すればよいですか。

回答: 認証されていないユーザーに Lync Server 2010 CAL は必要ありません。こうしたユーザーを認証する場合 (Active Directory 経由)、ユーザー単位で CAL を購入するのではなく、社員以外のユーザーが使用するサーバー単位で 1 つの External Connector ライセンスを購入することができます。詳細については、Lync 製品の使用权 ([PUR](#)) を参照してください。

質問: 社員や請負業者ではないユーザーに対して External Connector ではなく CAL を購入できますか。

回答: はい、External Connector ライセンスの代わりに、認証済みユーザー用の CAL を購入できます。組織にとって最も費用対効果の高いライセンス オプションを選択できます。

質問: 複数のユーザーが同じデスクトップを共有している場合、各ユーザーに別々の Lync Server 2010 CAL が必要ですか。

回答: Lync Server 2010 はユーザー単位またはデバイス単位の CAL でライセンスすることができます。複数のユーザーがデスクトップを共有していて、個別に他の場所 (自宅の PC など) から Lync Server 2010 にアクセスしない場合、1 つのデバイス CAL だけでライセンスされます。

質問: Lync Server 2010 のライセンスの前提条件はありますか。

回答: はい。Lync Server 2010 を実行するには、Windows Server 2008 と SQL Server 2008 が必要です。各 Lync Server 2010 CAL では、主にユーザーが利用する Lync 内の機能に応じて、基になる Microsoft テクノロジーが他にも必要とされることがあります。たとえば、Windows Server CAL、Exchange Server Standard と Enterprise CAL、SharePoint Enterprise CAL、Office Professional Plus などです。

質問: CAL をライセンスする代わりに特定の機能 (クリック通話機能など) を個別に購入できますか。

回答: いいえ、機能は割り当てられた CAL の一部として利用でき、CAL または ECAL スイート(該当する場合) でのみ利用できます。

質問: Lync Server 2010 のライセンスと価格における主な変更点を教えてください。

©2010 Microsoft Corporation. All rights reserved. このドキュメントは、情報提供のみを目的としています。マイクロソフトはこのドキュメントの内容の正しさについて、明示および暗示を問わず、いかなる保証もおこないません。

回答: すべての Lync ソリューションでさまざまな機能強化が行われ、特に Lync Server 2010 Enterprise CAL と新しい Lync Server 2010 Plus CAL に重点が置かれました。音声会議、ビデオ会議、Web 会議が分離され、新しいエンタープライズ VoIP 機能が Plus CAL に追加されました。その結果、Enterprise CAL の価格は 20% 以上低下しました。他の価格はすべて変更されていません。

質問: Lync Server 2010 Enterprise CAL の価格の上昇幅が ECAL スイートの価格の上昇幅より大きいのはなぜですか。

回答: スタンドアロン価格は市場と競合他社の調査に基づいて決定されます。複数製品割引のため、ECAL スイートの価格の上昇幅は小さく、Lync Enterprise CAL 機能と他のマイクロソフト製品に興味を持つお客様にとってさらにお得になっています。

質問: ソフトウェア アシュアランスを保持し、Lync Server 2010 Enterprise CAL に対する権利がある場合、価格の変更によって支払い額は減少しますか。

回答: ソフトウェア アシュアランスの残りの支払い額は、元の購入時期によって決定されます。ソフトウェア アシュアランスを保持することで、OCS 2007 R2 の特別優遇特典があり、Plus CAL で提供されているエンタープライズ VoIP 機能の永続的ライセンスを取得することができます。更新時点で、Plus CAL で提供されている権利の使用継続を希望する場合は、Plus CAL のソフトウェア アシュアランスを更新するオプションがあります。Lync Server 2010 の特別優遇ポリシーの詳細については、[製品表](#) のメモを参照してください。

質問: Lync Server 2010 のライセンスと価格によって、既存の Office Communications Server 2007 R2 の Standard CAL と Enterprise CAL 間の違いは変更されますか。

回答: Lync Server 2010 では Standard CAL、Enterprise CAL、Plus CAL に新機能や拡張機能 (Standard CAL のスキル検索など) が追加されますが、OCS 2007 R2 の既存の違いは変更されません。たとえば、Standard CAL ではインスタント メッセージングとプレゼンスが引き続き提供され、Enterprise CAL ではマルチパーティ アプリケーション共有が提供されます。

5.2 Lync の特別優遇ポリシー

質問: Lync Server 2010 Plus CAL の特別優遇ポリシーでは、永続的 Enterprise Agreement を持つ場合、永続的ライセンスを取得できますか。また、それにはソフトウェア アシュアランスが含まれるのでしょうか。

回答: 発売日時点でソフトウェア アシュアランスが有効な場合、登録期間末まではソフトウェア アシュアランスが付いた Plus CAL を得ることができます。更新時には、Lync Server Standard CAL と Lync Server Enterprise CAL に加え、Plus CAL のソフトウェア アシュアランスを更新することができます。

質問: Enterprise CAL からエンタープライズ VoIP 機能が削除されたのはなぜですか。

回答: Lync Server 2010 では、購入方法の柔軟性とお客様の投資収益率向上に重点が置かれています。お客様とパートナーからのフィードバックに基づき、以前の Enterprise CAL で提供された機能の一部をライセンスせず使用しない場合のコストをお客様が管理できるようになりました。

質問: Lync Server 2010 Plus CAL を購入するには、Lync Server 2010 Enterprise CAL のライセンスが必要ですか。

回答: いいえ。Lync Server 2010 Enterprise CAL と Lync Server 2010 Plus CAL はどちらも Lync Server 2010 Standard CAL への追加ライセンスです。Enterprise CAL は Plus CAL の前提条件ではありません。

質問: Enterprise CAL と ECAL スイートの補正発注でも特別優遇ライセンスの対象となりますか。

回答: 補正発注ライセンスも、Lync Server 2010 の発売日時点でソフトウェア アシュアランスに登録されている限り、Plus CAL への特別優遇を受けることができます。

質問: Plus CAL の特別優遇を受けるための期限はいつですか。

回答: Lync Server 2010 の特別優遇を受けるには、2010 年 12 月 1 日までに OCS Enterprise CAL または ECAL スイートのソフトウェア アシュアランスを有効にする必要があります。

5.3 Lync Online

質問: Lync Online にはどのバージョンの Lync が使用されますか。

回答: 現在、Lync Online には Lync 2010 コードが使用されています。しかし、Lync Online はサービスであるため、ユーザー側の追加費用なしに定期的に機能強化が行われます。

質問: Lync Online で Enterprise CAL 機能が提供されないのはなぜですか。

回答: Lync Online では 2011 年に Enterprise CAL 機能の提供を開始する予定です。マイクロソフトでは、Lync Online の頻繁な更新に努めており、Lync Server 2010 の発売後に Lync Online の更新スケジュールが発表されます。Lync Online で利用できる機能は国や地域によって異なります。

質問: マイクロソフトによってホスティングされたサーバーを使用するユーザーと社内サーバーを使用するユーザーがいる場合、特別なライセンスが必要ですか。

回答: いいえ。各社内ユーザー/デバイスには Lync CAL が必要であり、ホスティングされた各ユーザーには Lync Online USL が必要です。

6 付録

6.1 Office Communications Server 2007 R2 移行パス

ソフトウェア アシュアランス (SA) の新製品バージョンの特典のため、優遇の対象となる Office Communications Server のお客様は SA の対象ライセンスごとに Lync Server 2010 に対する権利が与えられます。

図 11: SA で移行の対象となるライセンス

Lync サーバー ライセンス	移行権利のあるライセンス
Lync Server 2010 Standard エディション	Office Communications Server 2007 R2 Standard エディション
Lync Server 2010 Enterprise エディション	Office Communications Server 2007 R2 Enterprise エディション
Lync Server 2010 Standard クライアント アクセス ライセンス	Office Communications Server 2007 R2 Standard クライアント アクセス ライセンス
Lync Server 2010 Enterprise クライアント アクセス ライセンス	Office Communications Server 2007 R2 Enterprise クライアント アクセス ライセンス
Lync Server 2010 Plus クライアント アクセス ライセンス	特別優遇ポリシーを参照
Lync Server 2010 エクスターナル コネクター Standard	Office Communications Server 2007 R2 エクスターナル コネクター Standard
Lync Server 2010 エクスターナル コネクター Enterprise	Office Communications Server 2007 R2 エクスターナル コネクター Enterprise
Lync Server 2010 エクスターナル コネクター Plus	特別優遇ポリシーを参照

6.2 特別優遇ポリシー

エンタープライズ VoIP 機能は Lync 2010 の Enterprise CAL からは使用できませんが、優遇の対象となるお客様には Plus CAL に対する権利が付与されます。Office Communications Server 2007 R2 Enterprise CAL または ECAL スイートを購入し、Lync Server 2010 の発売日までソフトウェア アシュアランスの特典を保持したお客様は優遇の対象となります。

この特別優遇措置を使用すると、CAL の変更を近々行うお客様は、Office Communications Server または Lync Server 2010 に Lync の音声機能を展開し、組織内でその価値を確認できます。その際に SA コストがすぐに増加することはありません。具体的な条件については以下のセクションで説明します。

6.2.1 主な変更点の概要

Office Communications Server 2007 R2 Enterprise CAL で以前提供されていた音声固有の機能の一部は廃止され、新しい Lync Server 2010 Plus CAL でのみ提供されるようになります。この変更のため、Lync Server 2010 Plus CAL とその関連機能は ECAL スイートには含まれません。

6.2.2 特別優遇の対象

Office Communications Server 2007 R2 Enterprise CAL または ECAL スイートを購入し、Lync Server 2010 の発売日まで SA の特典を保持している場合、次の 2 つの SA 権のいずれかの特典を受けることができます。

- a) 2009 年 7 月 1 日より前に購入し、SA を保持している場合
 - Lync Server 2010 の発売日に Lync Server 2010 Plus CAL の永続的ライセンスを取得します。
 - Office Communications Server Enterprise CAL または ECAL スイートの SA を保持している場合、2 つのリリース (Lync Server 2010 および N+1 (N = Lync Server 2010)) リリースについて、Lync Server 2010 Plus CAL での権利と同等のアクセス権を取得します。
 - 将来のリリースで SA の特典を保持するため、リリース N+1 後の最初の更新時期に Lync Server 2010 Plus CAL SA を個別に更新することができます。
- b) 2009 年 7 月 1 日以降、Lync Server 2010 のリリース日前に購入し、SA を保持している場合
 - 一般消費者への Lync Server 2010 のリリース日に Lync Server 2010 Plus CAL の永続的ライセンスを取得します。
 - 将来のリリースで SA の特典を保持するため、一般消費者への Lync Server 2010 のリリース日後の最初の更新時期に Lync Server 2010 Plus CAL SA を個別に更新することができます。

Office Communications Server Enterprise CAL または ECAL スイートに対する SA 権がないか、Lync Server 2010 の発売日に SA を保持していない場合、特別優遇の対象ではなく、Lync Server 2010 Plus CAL 機能に対する権利を取得するには、リリース時に Lync Plus CAL を購入する必要があります。

6.3 サーバーの役割

Lync 2010 Server Standard Edition と Enterprise Edition は Windows Server を実行しているサーバーにインストールし、さまざまなサーバーの役割に構成できます。サーバーの役割は、音声ビデオ会議、エッジ サービス、エンタープライズ VoIP と PSTN の仲介など、一連の特殊な機能を実行する Lync Server 2010 インスタンスです。すべての展開にはフロントエンドサーバーの役割が必要とされ、その各インスタンスにはライセンスが必要です。一部の役割は追加ソフトウェアと見なされ、ライセンスを必要としません。Lync Server 2010 の役割の詳細については、[TechNet](#) を参照してください。

- **Web 会議サーバー:** オンライン電話会議のデータ コラボレーションを管理するサーバーの役割。
- **アーカイブサーバー:** アーカイブ サービスとアーカイブ データベースを含むサーバーの役割。
- **アプリケーション共有サーバー:** 会議中に共有アプリケーションまたはデスクトップ全体の管理およびストリーミングを行うサーバーの役割。

- **エッジ サーバー:** 境界ネットワークに展開されるサーバーの役割。外部ユーザー、フェデレーション ユーザー、およびパブリック IM 接続に対する接続を提供します。エッジ サーバーでは、アクセス エッジ サービス、音声ビデオ エッジ サービス、および Web 会議エッジ サービスという 3 種類のサービスが実行されます。3 つのサービスはすべてエッジ サーバーに自動的にインストールされます。
- **音声ビデオ会議サーバー:** マルチパーティの音声ビデオ会議のために、複数のソースからの音声ビデオ入力を混合および管理するサーバーの役割。
- **会議サーバー:** グループ セッションで複数のクライアントからの入力を混合および管理するサーバーの役割。Multipoint Control Unit (MCU) とも呼ばれます。
- **監視サーバー:** 詳細な通話の記録および体感品質 (QoE) 情報を収集する内部ネットワークのサーバーの役割。
- すべての IM 会話と IM グループ会議を収集し、SQL Server データベースに格納します。
- **チャット ルーム サーバー:** チャット ルームのインスタンス化、アクセス許可の管理、状態の維持、および削除を行うサーバーの役割。
- **仲介サーバー:** ディレクターまたはフロントエンド サーバーとメディア ゲートウェイの間で信号とメディアを仲介するサーバーの役割。
- **ディレクター:** 内部および外部ユーザーを認証し、エッジ サーバーと内部の Lync Server 2010 展開の間のトラフィックをルーティングするサーバーの役割。
- **テレフォニー会議サービス:** Lync Server 2010 フロントエンド サーバーで実行されるサーバーの役割。電話会議プロバイダー (ACP) の統合を管理して、ACP を通じて接続する PSTN 発信者とのマルチパーティの電話会議を実現します。
- **バックエンド データベース:** SQL Server データベースをホストするサーバーの役割。データベースには、固定のユーザー データ、一時的なユーザー データ、フロントエンド サーバーの固定の設定情報など、ユーザー情報と電話会議の状態が格納されます。バックエンド データベースは Standard Edition サーバーと同じコンピューターに配置されます。エンタープライズ プールでは、バックエンド データベースが、独立した専用のコンピューターに展開されます。
- **フロントエンド サーバー:** ユーザーの登録、プレゼンス、IM、および通信のルーティングを行うサーバーの役割。IM 会議サービス、アドレス帳サービス、およびテレフォニー会議サービスをホストする会議サーバーを含む場合もあります。